

令和2年（2020年）

第7回大阪狭山市教育委員会
定例会議議事録

令和2年（2020年）7月30日 開催

大阪狭山市教育委員会

第7回大阪狭山市教育委員会定例会議議事録

令和2年(2020年)7月30日(木)

午前9時30分 開議

市役所3階 委員会室

出席委員(5名)

竹谷	好弘	教育長
山田	順久	教育長職務代理者
田川	宜子	委員
河合	洋次	委員
井上	寿美	委員

出席事務局の職員

山崎	正弘	教育部長
酒匂	雅夫	教育部理事
尾島	肇	教育部副理事兼学校教育グループ課長
北野	真也	教育総務グループ課長
酒谷	由紀子	学校教育グループ参事

書記

荒川	郁代	教育総務グループ参事
御田	青波	教育総務グループ主査

議事日程

開会

教育長活動報告

議事

日程第1 議案第12号 令和3年度使用中学校教科用図書採択について

閉会

教育長（竹谷好弘）

おはようございます。本日の出席委員数は定足数に達しておりますので、会議は成立をいたしております。

以上、報告いたします。

ただいまから令和2年第7回教育委員会定例会議を開会いたします。

なお、議事録の署名委員は、会議規則第20条第2項の規定によりまして、河合委員、井上委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

また、本日は、13名の方から傍聴の申込みがございましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、別室にて音声のみの傍聴という対応を取らせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、教育長の活動報告でございますが、一覧表にしておりますけれども、7月9日、臨時教育委員会以降、各種庁内会議等に出席をいたしております。

報告については、以上でございます。よろしいでしょうか。

それでは、早速でございますが、議事に移行したいと思います。

本日の議案でございますが、日程第1、議案第12号、令和3年度使用中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

まず、会議の進め方でございますが、初めに大阪狭山市立中学校教科用図書選定委員会の吉川委員長から答申及び経過説明をお願いいたします。委員の皆様には、あらかじめ答申資料や教科書を十分ご覧いただいておりますので、おおむね本市の子どもたちにどのような教科書がふさわしいのかについて、イメージをしていただいていると思います。選定委員長より答申の説明をいただいた後に、採択に係る重要なポイントについてのご質問やご意見を頂戴したいというふうに思います。

また、選定委員長の説明につきましても、選定時において最も重視した要素を簡潔に述べていただきますようよろしくお願いいたします。

なお、この議題、審議が長時間になると思われるので、途中休憩を取りながら進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、選定委員長から説明を求めます。

選定委員長（吉川 豊）

今回の教科用図書採択につきましては、16種目にそれぞれ3名の調査員を任命し、各調査員会において十分な研究協議の上、調査研究資料を作成し、選定委員会へ提出していただきました。

選定委員会は、中学校校長会代表、小学校校長会代表、中学校教頭会代表、保護者代表に教育委員会事務局を加えた7名によりまして、4月15日に採択の方針等を確認した後、6月15日および6月19日の2回にわたって、各教科調査員会より報告を受けた調査研究資料を基に議論いたしました。そして本市の子どもたちにとってより望ましい教科書を選んでいただくために資料を作成させていただきました。

以上がこれまでの経過でございます。

答申をさせていただきます。

大阪狭山市教育委員会様。

令和3年度使用中学校教科用図書の採択について。

答申。

令和3年度使用中学校教科用図書の採択に関し、国語、書写、社会（地理的分野）、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、地図、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、美術、保健体育、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）、英語、道徳の16種目について、別紙資料のとおり答申します。

令和2年7月30日。

大阪狭山市立中学校教科用図書選定委員会委員長、吉川豊。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。答申作業、お疲れさまでした。

ただいま説明があったとおり、選定委員会から答申資料が提出されております。

それでは、種目ごとの採択に入りたいと思います。

選定委員長より説明をお願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

これより調査員会を経て選定委員会ですとまとめました各種目の教科用図書について、答申資料に沿って報告いたします。

それでは、国語について報告いたします。

学習指導要領では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成することをめざしています。このことを踏まえ、各社とも、「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動において、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっております。

また、生徒が言葉の持つ価値を意識し、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図ることができるよう、適切な内容が取り上げられています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料にありますが、例えば東書では、「音声の働きや仕組み」「話し言葉と書き言葉」「間違いやすい敬語」等、言葉への意識を徐々に高め、実生活につながるよう配慮している点など、三省堂では、各学年に「読み方を学ぼう」のコラムを設け、読解に必要な力を発達段階に応じて身につけることができるよう、工夫している点など、教出では、全学年でSDGsを取り入れた話題、題材を設定し、多様な意見や価値観の

違いを深く学ぶことができるように配慮している点など、光村では、全学年で「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」の単元を配置し、生徒が読書への関心を高めることができるよう工夫している点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、国語につきまして、今ご報告がありました答申資料もご覧いただきながら、各委員からの意見を求めたいと思います。よろしくをお願いいたします。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は、三省堂の「学びの道しるべ」が工夫されていると思えました。2年生の172ページ、173ページをご覧ください。

こちらなんですけれども、「学びの道しるべ」で、まず「内容を整理する」で、次に「読みを深める」、さらに「自分の考えを深め」の流れに沿って見開きで分かりやすく示されています。あとは、下段に単元の学習で取り上げた思考方法や語彙、それがコラムで取り上げられている点も、生徒が学習を進める上で参考になるんじゃないかと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も、三省堂のレポートを書く単元の取扱いが分かりやすいと思えました。1年生の54ページをご覧ください。

調べたところをレポートで整理してまとめる方法について、学習の流れが例とともに分かりやすく示されています。また、巻末の資料もとても充実していていいなというふうに思いまし

た。

1年生の280ページをご覧ください。

情報探しの方法として、インタビューを依頼する際の流れが解説されており、活用しやすいと思いました。

さらに全学年で巻末に掲載されている「原稿用紙の使い方、推敲の仕方」は原稿用紙の使い方への留意点がとても分かりやすくまとめられており、参考にしやすいと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

教育長職務代理人（山田順久）

選定委員長に質問なんですけれども、各社ともインターネットを通して学習資料を閲覧できるようにQRコードというのが掲載されているんですけれども、実際の学習ではどういうふうな活用というのを考えられるのか、教えていただけますか。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

学習内容と関連した音声資料や映像資料は、生徒の学習意欲を高めたり、学習内容の理解を深めたりする効果が期待されることから、従前から授業で活用を進めてきたところです。

また、今般の新型コロナウイルス感染症により臨時休業期間中、本市の生徒は、紙媒体の学習課題とインターネット上の学習動画等を組み合わせた家庭学習に取り組んでまいりました。

今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考えますと、生徒が教科書に掲載されているQRコードを活用する機会は、これからさらに増えてくるのではないかと考えております。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

これから生徒1人1台のタブレット端末が整備される予定となっていると聞いていますが、生徒がQRコードを通してインターネット上の学習資料を活用する機会は、ますますこれから増えてくるような気がします。

教育長職務代理人（山田順久）

そうですね。新型コロナウイルスの感染症の影響ということもありますし、生徒1人1台のタブレット端末の活用ということは今後考えていきますと、QRコードによる学習指導が充実しているほうが生徒は学びやすいということだと思います。

QRコードで閲覧できる学習資料について、各社の特徴というのはどうなっているのか教えていただきたいと思えます。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

4社ともQRコードを掲載しており、東書は学習活動の映像資料や補充問題を掲載している点、三省堂と教出は要点やまとめ方のワークシートを掲載している点、光村は学習活動の映像資料や作者のメッセージ動画を掲載している点、こういったところが特徴的でした。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私は、東書のQRコードから閲覧できる学習資料の種類がとても豊富だったということで、内容も充実していると思いました。

例えばなんですけど、3年生の12ページをご覧ください。

こちらにはQRコードから3年生の学習資料の一覧画面にアクセスすることができるんですね。例えば同じく3年生の135ページで、古典教材の「おくの細道」が取り扱われているんですが、QRコードから「おくの細道」の概要を

紹介する学習動画を閲覧することができるような、学習動画では、松尾芭蕉の旅のルートやエピソード、各地の史跡などが取り扱われていて、生徒の興味や理解がより文面からじゃなくて画面からもより深まるのではないかと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

田川委員から教書のQRコードについて説明がありましたけれども、私が東書で工夫されていると思ったのが単元の構成なんです。1年生の106ページ、「学びの扉」というところを見ていただきたいんですが、漫画で、生徒が親しみやすいと思うんですけども、漫画を使って「根拠を挙げて考えを述べる」という学習の課題を明確に挙げて理解させた上で、次は107ページ、「根拠を明確して書こう」、234ページ、「学びを支える言葉の力」に接続して学習を深められるように工夫していると思います。

「学びを支える言葉の力」で「どうして根拠を挙げることがだいじなのだろうか。」ということを生徒に投げかけているんですね。それで推理ドラマとか、ドラえものの例を取り上げながら生徒が親しんで根拠を挙げることのよさについて思考できるよう配慮されていると思います。この点、東書がよかったですね。

教育長職務代理者（山田順久）

私も東書の単元の構成というのがいいんじゃないかなと思っています。各単元で身につけさせたい言葉の力を「学びの扉」で分かりやすく生徒に紹介して、単元の教材本文の学習を通して実践的な言葉の活用場面を設定している。

「学びを支える言葉の力」で生徒が言葉を活用することのよさに気づくことができるよう構成が工夫されています。

また、「学びを支える言葉の力」では、1年

生では先ほどの「根拠を挙げて考えを述べる」のほかに「分類する・比較する」「事実と考えを区別する」など、また2年生では、「情報を図や表に整理する」「論証の説得力を見極める」といったことなど、3年生では、「多面的に捉える」「論理的に読む」など、全国の学力・学習状況調査において本市の生徒に課題が見られた言葉の力というのが丁寧に取り扱われておりまして、授業を行う教員にとりましては、非常に活用しやすいのではないかと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございました。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は、東書は文法指導の取扱いでも工夫されているなと思っています。3年生の121ページ、「文法の窓」というところをご覧いただけたらと思います。

ここでは、「曖昧な文・分かりづらい文」について、生徒がクイズ感覚で興味を持って考えられるよう楽しく問題提起されています。また、詳しい説明が「文法解説」として260ページに掲載されていて、理解を深めることができるようになっています。東書は文法資料においても、「文法の窓」で生徒の興味を引きつけて、「文法解説」で学習を深められるように配慮されているなと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

意見が出そろったようでございます。各委員それぞれ教科書の特徴、よさなどをお話いただきました。ご意見を伺っておりますと、東書を推す委員がほとんどのように思われます。国語につきましては東書としたいと思いますけれども、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、国語の教科書については東書を採択することに決定いたします。

続いて、書写の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、よろしく願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、書写についてご報告いたします。

各社とも、文字を効果的に書くことや日常生活の中で積極的に活用することについて、生徒が関心を高められるよう、写真やイラストを用いて視覚的に分かりやすく示しています。

また、生徒が文字文化を継承・発展させる態度を身につけることができるよう、文字の成り立ちや歴史的背景、社会における文字の役割や意義について、コラムを設けて適切に取り扱っています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば東書では、手書き文字に近い字形で、読みやすいユニバーサルデザイン・フォントを使用している点など、三省堂では、中心やバランスを意識しやすいよう、リーダー線を多用した硬筆の練習スペースを掲載している点など、教出では、学習の確認やまとめができるよう、巻末に「書写テスト」を掲載している点など、光村では、硬筆練習用の「書写ブック」を別冊で用意している点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料がございますので、どうぞご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、書写につきまして、各委員からの意見を求めます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は、巻頭の「書くときの姿勢」や「用具の

準備」について比べてみました。各社とも大きな写真で、分かりやすく姿勢や筆の持ち方が示されているんですけども、中でも東書と教出は、左利きの生徒に配慮されている点がとてもよいなというふうに思いました。

東書の6ページと教出の6ページをご覧いただけたらと思います。

例えば教出では、「左手で筆を持つ人は、用具を左右逆に置く場合もある」というように、左利きの生徒に配慮した説明がされています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

ちょっと確認しておきたいんですけども、中学校の書写の学習というのはどういったねらいで、またどれぐらいの授業時間数なのか、確認しておきたいんですけども。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

書写の授業は、楷書や行書の実践練習を中心に、文字を正しく整えて速く書く力を身につけ、学習や生活に役立てていくことを目標としております。

書写の配当時間ですが、1・2年生は20時間、3年生は10時間程度で、国語の配当時間の中で実施することとなっております。

教育長職務代理者（山田順久）

ということは、3年間で50時間程度ということなんですけれども、限られた時間で学習を進めていくということになるんですけども、限られた時間の中で効果的に学習を進めていくために、それぞれの会社ではどのような工夫がされているのか教えていただけますか。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

各社とも、授業で活用できる学習動画に接続できるよう、QRコードを掲載していました。東書と教出は、生徒の観点から撮影した毛筆の手本動画、三省堂は姿勢や筆の持ち方について解説する動画、光村は生徒の斜め横の視点から撮影した毛筆の手本動画を閲覧できるようになっていました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

今、委員長から動画のお話が出たんですが、毛筆の動画を活用するということで、限られた授業数で効果的に学習を進めることできるような気がします。

私、ちょっと動画のところを見せていただいたんですけども、特に東書と教出の生徒の視点から見た動画というのは、生徒にとっても、教える側にとっても活用の効果が高いのではないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

教育長職務代理人（山田順久）

先ほど選定委員長から書写のねらいの中で、「学習や生活に役立てていく」というお話がありましたけれども、昨年の全国学力・学習状況調査の国語科では、新聞の読者欄に投稿するという設定で封筒の書き方を試すという問題が出題されていました。この出題では、本市の生徒にも課題が見られましたので、実生活で活用できる書写の力を高められるような教科書というのが一番いいのではないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

実生活で活用という点ですけれども、「学習

や生活での活用」という点で、各社とも手紙の書き方、はがき・封筒、小包伝票の書き方とか、あと職場体験のお礼の手紙、入学願書の書き方など、書写で学習したことを活用する具体的な例を取り扱っているんですけども、特に東書なんです。45ページ、3ページにわたって職場体験学習で活用する書写の力について取り扱っている点が私はよいなと思いました。

大阪狭山市の生徒というのは、2年生で職場体験を行いますので、1年生の終わりにこの単元を位置づけることで2年生の職場体験への意識を高めて、キャリア教育という面でも書写の大切さを学ぶことができるんじゃないかと思って、この東書はいいなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

今、河合委員からキャリア教育というお言葉が出たんですけども、私もキャリア教育の観点では、東書は補充・発展的な内容として、84ページに「仕事の中の手書き文字」というところがあります。ご覧いただけたらと思うんですが、いろんな職種の方のインタビュー記事が掲載されていて、書写で学習したこと、書店員さん、今子どもたちには身近な仕事かなというふうに思うんですけども、そういう仕事と書写とのつながりを知ることができるという点で、生徒にとって参考になるなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

キャリア教育の観点ではなくて違う点なんですけれども、東書なんですけれども、東書は小学校の書写との接続という点でも活用しやすいなと思いました。東書の10ページを見ていただきたいんですが、「とん・すう・びたっ」とい

う擬音を使って基本の点画の書き方を説明しているんですね。

大阪狭山市の小学校でも、児童に筆遣いの動きとカリズムを分かりやすくつかむことができるように、「とん・すう・ぴたっ」と書いた教科書を使って指導していると思うんですが、中学校でも同様の指導をすることで、楷書の基本を振り返ったりとか、行書の筆遣いだとかの違いが理解できるんじゃないかなと思って、この擬音を使って「とん・すう・ぴたっ」というのがいいなと私は思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

意見が出そろったようでございます。ご意見を伺っておりますと、東書を推す委員が多いようでございますので、書写につきましては東書としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、書写の教科書は東書を採択することに決定いたします。

続いて、社会（地理的分野）の教科書の採択に移ります。

それでは、吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、社会について報告いたします。

学習指導要領の教科目標では、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養うことをめざしています。社会につきましては、地理、歴史、公民及び地図の分野ごとに報告をさせていただきます。

まずは地理的分野です。学習指導要領の目標では、社会的事象の地理的な見方・考え方を働

かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することが求められています。

各社とも「目標」及び「内容等の取扱い」に示された事項は、過不足なく取り上げられていました。また、「課題を追究したり解決したりする活動」につきましても、単元の始めに学習の流れを意識する工夫があり、生徒が学習しやすいように考えられています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にもございますが、例えば東書では、地域調査で南海トラフの調査に適している高知県高知市が扱われている点など、教出では、広島県の地形図を比較でき、平和学習にも利用できる点など、帝国では、コラムからハザードマップの読み取り方や情報入手の方法を学習できる点など、日文では、地域調査で近畿地方の京都が扱われていまして、身近な地域の学習が可能である点など、こういった特徴が見られました。

他の特徴につきましては資料にございますので、ご覧いただきたいと思っております。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、社会（地理）について、各委員からの意見を求めます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

質問なんですが、日本の領土についてどのように取り扱われているのか、また、教科書によって違いがあるのかどうかというのを教えてください。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

日本の領土につきましては、各社とも学習指

導要領に適した記述がなされています。どの教科書も日本の東西南北端について記載されており、記載内容もほとんど変わりませんでした。

領土を巡る問題については、各社とも北方領土、竹島、尖閣諸島にそれぞれ触れています。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私、日文を手にとって見たときに、振り返りの中で、索引もそうなんですけれども、重点項目のフォントが黒以外で表記されているというのが少し分かりやすいなと思うんです。索引を見ていっぱいページが並んでいると、どれを見たらいいのかなと分からなくなるときがあるんですけれども、赤で書いてあるとそこを見ればいいんだなということで、生徒が自ら学習を振り返る場面ですごく取り組みやすい工夫がされていると思いました。

あと、近畿地方の都市や施設を扱った学習がとて多くて、大阪狭山市の子どもたち、生徒が身近に感じながら学習を進めることができるんじゃないかと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

東書と日文を見ていただきたいんですが、東書と日文は単元にサブタイトルがついているんですね。そのサブタイトルをつけることで、どのような視点を持ってその地域の学びを進めていくとかいうのがよく分かるようになっていて、教える側も生徒も、次はどういう勉強をするんだろうとか、流れになるんだろうという見通しを持つことができると思います。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

全社が自然災害や防災に関わる内容について取り扱っているんですけども、中でも日文は他社と比較すると非常に多くのページが使われているなと思います。

特に150ページを見ていただきたいなと思うんですが、150ページのところに「釜石の奇跡」が取り扱われているんですね。やはりこういう学習をすると、ふだんから災害を想定しておくことと同時に、緊急時には想定にとらわれずに自分の判断で主体的に防災行動を取る必要があるということ子どもたちが学べると思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

帝国なんですけれども、見ていただきましたら最初に学習課題の提示がありまして、そこからまとめまで生徒の思考の流れに沿って教科書を読み進めやすいと感じています。

特に説明文に対する理由づけが分かりやすく提示されていたり、まとめ方についても具体的な進め方が提示されていたりしますので、教科書を使って学習を進める場合、一番活用しやすいのではないかと思います。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

帝国についてですけども、グラフの表記が結構私は帝国が一番見やすいように思っています。例えば帝国の100ページ、北アメリカ州の主な輸出品目に関する帯グラフ、これ、注目させたい項目とそれ以外の項目を2色に分けて提示しているんです。同じように2色で提示している出版社というのものあるんですけども、配色の点では、私は帝国のほうが見やすく感じました。

教育長（竹谷好弘）

山田教育長職務代理人。

教育長職務代理人（山田順久）

各社QRコードというのがあるんですけども、関係機関のホームページや動画サイト、また写真資料の提示など工夫されていると思います。QRコードは、授業中の指導に活用するだけでなく、生徒が自学自習でも活用できるようにできたらな思っています。

そういう点では、帝国のQRコードというのは、解説動画の視聴ページに素早くアクセスできるということで使いやすいかなというふうに感じました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

いろいろ意見が出ているようでございます。身近な教材を多く扱っているのが日文、教科指導の流れや資料提示の工夫が充実しているのが帝国というご意見が出ているように思います。

ちょっと違う視点で私のほうから吉川委員長にお伺いしたいと思います。

ほかに人権教育の観点でどのような内容がございましたでしょうか。

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

各社ともそれぞれの地域に応じた人権課題を随所で取り扱っていました。例えば教出では、90ページです。こちらのほうにアメリカの人権問題について触れています。様々な人権課題について広く取り扱っているのは日文かなと。199ページをご覧くださいますと、こちらには在日コリアンについても近畿地方の学習ページにコリアタウンのコラムが掲載されています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ご意見が分かれているようでございます。私

のほうでまとめさせていただきたいと思います。

帝国または日文を推すご意見が多かったと思いますので、2社のうちいずれかで決定したいというふうに思いますけれども、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

では、挙手をお願いしたいと思います。

まず、帝国がふさわしいとお考えの委員は挙手願います。

（賛成者挙手）

お2人ですね。

日文がふさわしいとお考えの委員、挙手願います。

（賛成者挙手）

私を含めて3名でございます。

それでは、地理の教科書は日文を採択することに決定いたします。

続いて、社会（歴史的分野）の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、続いて、社会（歴史）の採択に移ります。

吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、歴史的分野について報告いたします。

歴史につきましては、学習指導要領において、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することが求められています。

各社とも学習指導要領の趣旨が十分に反映されているとともに、自ら進んで学習に取り組めるよう創意工夫があり、豊富な資料が掲載されています。また、主体的・対話的で深い学びに

つながるよう配慮した内容となっています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料にもございますが、例えば東書では、「人物コラム」は単位時間に登場する人物に関して興味を持ちやすい工夫がされている点など、教出では、「歴史の技」「読み解こう」のコラムで資料を活用した学習の技能を高めるテーマが設定されている点など、帝国では、全18テーマからなる「地域史」コラムを活用して、各地域の歴史学習が可能である点など、山川では、巻物マークの資料が高度で詳しい内容となっている点など、日文では、巻末特集で「日本各地の史跡」「国県対照と五畿七道」が掲載され、本市の「狭山池」が表記されている点など、育鵬社では、「なでしこ日本史」で歴史上活躍した女性を多数取り上げている点など、学び舎では、人々の生活に視点を置いた記述構成がされている点など、こうした特徴が見られました。

他の特徴につきましては資料にございますので、ご覧いただきたいと思えます。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、社会（歴史）について、各委員からのご意見を求めます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

東書の271ページのところをご覧いただきますと、人権の発達とグローバル化という「小さな世界にアクセス」というところがあるんですが、そこで本当に人権三法についての記述があるんですね。例えば240ページ、東書さんの「もっと歴史」というところを開けていただきますと、「解放令から水平社へ」ということで、同和問題についても、明治以降の急速な近代化によって差別が助長されていたんだと部落差別が社会構造の中で捉えられていました。

274ページを開けていただきますと、東日本大震災後のボランティア活動についての記述があります。過去の歴史や出来事から、自分たちが今後社会にどう参画して社会をつくっていったらいいのだろうか、そういうことを考える歴史になっているなと思って、とても配慮が様々なところであるように感じました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

各教科書を読ませていただきまして、育鵬社は、地域歴史学習で大阪について多くのページを取り扱っていますし、また日文は、256ページになりますかね。256ページに大阪大空襲というのを取り扱っておりまして、生徒に戦争について深く考えさせることができると思いました。

また、学び舎は、生徒たちが対話的に学ぶための仕掛けとして、福沢諭吉の主張に対して自分の立場を決めて討論する機会というのをつくっています。

帝国は、単元の始めに大きな挿絵を用いて、その時代の庶民の暮らしについて想像させ、今後の学習へ興味づけをする工夫がされています。生徒たちの思考の流れに沿った展開がされておりまして、まとめの部分も非常に充実しています。そういった意味では、教員にとっても扱いやすいかなと思っております。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

各ページに時代のスケールというのが、時代の前後関係を把握するためにも参考にしやすいと私は思ったんですけども、この時代のスケール、採用しているのが東書と教出と帝国と日

文なんですけれども、見やすかったのは、ページの横に掲載している帝国、日文だと私は思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

学習の流れという点なんですけれども、各社とも課題提示の仕方に特色があるかなと思えました。その中でも帝国なんですけれども、学習課題に対して課題解決のためのポイントを提示してあるんですね。生徒たちにとって課題解決のための見通しを持つことができ、歴史の学習が苦手な生徒でも取り組みやすいかなと感じました。

また、帝国は鳥瞰図があるんですが、鳥瞰図の取扱いがすごく豊富で、生徒が興味とか関心とかを持って学習に取り組めるのではないかなと思えました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

それでは、意見が出そろったようでございます。ご意見を伺っておりますと、帝国を推す委員が多いようでございますので、歴史につきましては帝国としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、歴史の教科書は帝国を採択することに決定いたします。

続いて、社会（公民的分野）の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、公民についてご報告いたします。

公民につきましては、学習指導要領において、

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することが求められています。

各社とも学習指導要領に則って個人と社会との関わり、社会事象に関する取扱いや多面的・多角的な考察、現代社会の課題の解決など、生徒が主体的に学ぶ教材が適切に取り扱われています。

また、人権の取扱いや教科書作成上のフォントや配色、レイアウトなど、こういった点に関する配慮もなされていました。学習のめあてやまとめについても各見開きページに表示され、1単位時間で学習する内容が生徒に分かりやすくつくられています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料にございますが、例えば東書では、地理、歴史の既習内容には印をつけて学習を想起しやすくしている点など、教出では、各見開きページの下のところ、そのページの学習内容と関連するSDGsの項目を表記している点など、帝国では、「yes no」のコラムで、グループで協力しながら対話的な活動ができるよう工夫されている点など、日文では、「明日に向かって」のコラムで防災学習や裁判員裁判などが取り上げられ、将来の社会参画への見通しが持てるよう工夫されている点など、自由社では、各単元に「ミニ知識」コラムがあり、歴史的分野と関連させた構成にしている点など、育鵬社では、各分野で新聞記事を掲載して説明している点など、こうした特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、社会（公民）について、各委員からの意見を求めます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

先ほど地理でも「国の領域」という観点で領土に関する内容というのがありましたけれども、公民では、国際社会という位置づけで領土に関する内容についての説明があると思っているんですけれども、各社どのように取り扱っているのか教えていただけますか。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

各社とも学習指導要領に適した記述がこれも地理と同様なされていました。自由社につきましては、他社と比較して領土や国家主権に関わる記述が多少多いように感じました。国旗や国家に関しましても、168ページをご覧ください。見開き1ページの特集として扱っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、ご意見をお伺いします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

「子どもの権利」という観点で見せていただいたんですけれども、子どもの権利条約についてすごく詳しく書かれている日文がいいなというふうに思いました。

65ページをご覧いただけたらと思いますけれども、65ページのところで、いじめや虐待についても子どもの権利条約と関わりがあるというふうに述べられていて、権利が遠いところの話ではなくて、自分の身近で起きていることと関連づけて考えられると思っています。

そしてプライバシーの権利、ここが気になったんですが、日文と帝国はプライバシーの権利

についてもとても正確に書かれているなと思いました。日文は59ページになります。帝国のほうは55ページになるんですけれども、単に場面だけではなくて、自分に関する情報を誰にどこまで公開するかを決めることもプライバシーの権利であるというふうに、自己情報コントロール権の観点からも書かれていていいなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

井上委員から、日文と帝国の話が出たんですけれども、私は日文が身近な教材を使用しているという点で考えたんですけれども、日文の50ページをご覧ください。

これは堺市にある「ソフィア・堺」という身近な教材、題材を使っているという点で親しみやすいかなという点と、ここに実際に点字を添付しているんですよね。これも障がい者理解の教育につながっていいんじゃないかなと、私は日文がよかったんですけれども。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

身近な教材という点では、育鵬社のほうでは198ページ、こここのところに大阪万博についての記載がありまして、こういうのも身近な教材になると考えています。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

子どもの興味を引くというところで、教材として、教出は20ページのところなんですけど、介護の話題の中で先端技術のロボットスーツというのを扱っています。これは生徒がこれから介

護の在り方とかを考えるきっかけとして取り扱うと効果的かなと思う題材だなと思いました。

その他は、日文のほうなんですけど、68ページのところに「明日に向かって」というところなんですけど、「15歳は「子ども」？、それとも「大人」？」というテーマで討論する場面を設けてあるんですね。これなんかは今後の社会参画を意識させるいい教材だなと私は思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

日文についてなんですけれども、裁判員裁判のシミュレーションについて、日文が104ページ、このページで忠実に再現されていますね。あと、疑わしきは被告人の利益・倫理原則について、これは被告人の人権にも配慮するよう丁寧に説明されていて、よい内容だと私は思いました。

教育長（竹谷好弘）

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

同じく日文を見させてもらったら、グラフとか挿絵、また本文のレイアウトというのがすっきりしてしまっていて、教員が授業で活用しやすいと思うだなどに思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

それでは、意見が出そろったようでございます。ご意見を伺っておりますと、日文を推すご意見が多かったようでございますので、公民につきましては日文としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、公民の教科書は日文を採択することに決定いたします。

続いて、地図の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、地図についてご報告いたします。

地図についても、各社とも学習指導要領の趣旨が十分に反映されており、生徒が自ら進んで学習に取り組めるよう創意工夫を凝らして、見やすく、分かりやすく、活用しやすい内容となっています。

選定項目に沿った特徴は、お手元の資料にありますけど、例えば東書では、歴史学習と関連させやすいように古戦場あるいは歴史上ゆかりのある場所にマークがつけられている点など、帝国では、各領域に「地図活用」を配置して、活用技能を身につけるための補充発展的な学習に配慮している点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましては資料にございますので、ご覧いただきたいと思っております。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、地図について、各委員からの意見を求めます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

帝国なんですけれども、186ページに都道府県と昔の国名というのがあって、北海道のところが各地域の名称が一目で分かるようになっていて、北海道に行って天気予報を聞きますと、この地域名が出てきますのでこれがいいな、なんて思いました。

それから、教科書自体サイズが大きいので、ほかの教科書と取り違えることがなさそうだと思います。表記されている文字のフォントも大きくて見やすくなっているなというふうに感じました。

以上です。

教育長職務代理者（山田順久）

今、井上委員おっしゃいましたように、確かに大きさが違うと生徒は地図帳として認識がしやすいと思います。またサイズが大きいので、全てのページで細かい箇所まで描写ができています。

一方、東書のほうは、他の教科書と同じサイズなんですけれども、例えば61や67ページのように見開きのページを活用して、地球儀のような描写で地形を表現している箇所がありまして、このあたりは帝国にはない特色だなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

東書については、写真資料がたくさん使われていて、資料集のような活用も期待できると思います。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

そうですね。東書は震災の被害状況についてもかなり詳細に記載されているなと思いました。151ページに日本の自然環境というところが書いてあるんですけれども、ここは防災教育の活用にも期待できるかなと思います。

一方、帝国のほうなんですけれども、149ページなんですけど、ここも「日本の自然災害・防災」という項目があって、ここにハザードマップが提示されていたり、103ページ、123ページなんですけど、それぞれ大阪、東京都の拡大ページが記載されているのも、これもいいかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ほかにもございませんか。

それでは、私から委員長にお尋ねをいたしま

す。

先ほど地理の教科書は日文の採択ということになりましたけれども、相性なんかについてはいかがでございますか。

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

調査員のほうにも確認をしましたけれども、どちらの教科書も特に問題はないということです。地理だけでなく、歴史や公民でも地図帳を活用することで、事象を多面的に見ることが期待できるかなと思います。

特に鳥瞰図、これについては北アメリカ州で比較をしてみました。東書のほうは73ページです。それと帝国は61ページ、ご覧いただけたらと思います。

東書のほうは、比較的単一色で、逆に海については海溝の様子まで示しています。一方、帝国は、海につきましては海溝までは表していませんが、陸地については非常に立体的な描写がなされていて、特に山地はご覧いただいたら分かりますが、一目見て分かる工夫がなされています。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

地図そのものの見やすさという点では、色遣いで高低差をよく表れている帝国ですね。こちらのほうが生徒は使いやすいんじゃないかなと思うんですけれども、あと帝国の102ページなんですけれども、「大阪狭山市」と「狭山池」が記載されています。子どもたちにとって関心意欲が高まって、地域の調べ学習がこれで進めやすいんじゃないかなと、帝国のほうがと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

今、河合委員からございましたけれども、私も子どもが地理を学習するときに、まず自分の住んでいる地域を見ると思いますので、「大阪狭山市」、「狭山池」が書いてあるというのは重要なポイントかなと思っています。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

巻末の統計とか索引を見ても、東書は項目が単色なんです。帝国は1行ごとに色が変わっているの、ぱっと見てすごく混乱せず見やすいのかな、調べやすいのかななんてことを思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

意見が出そろったようでございます。ご意見を伺っておりますと、帝国を推す委員が多いようでございますので、地理につきましては帝国としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、地図は帝国を採択することに決定いたします。

続いて、数学の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、数学についてご報告いたします。

学習指導要領では、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学と実社会との関連についての理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとし

たり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成することを目標としていますが、各社とも随所にその工夫の跡が見られます。

また、社会生活などの様々な場面において、必要なデータを収集して分析し、その傾向を踏まえて課題を解決したり、意思決定をしたりする能力を育成するために統計的な内容が充実した構成となっています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元にご覧いただけますが、例えば東書では、データの活用において「コンビニエンスストア」を扱うなど、子どもたちの生活経験や生徒の興味関心に配慮している点など、大日本では、防災や点字など生徒の身近な題材を設定して、興味関心を高めている点など、学図では、導入の際に既習事項を振り返るページを設けるなど、基礎・基本の確認と定着を図るよう配慮されている点など、教出では、「数学的な考え方」のまとめが折り込みページにあり、常に数学的な見方・考え方を意識することができる点など、啓林館では、巻末に「自分から学ぼう編」を設定して、自学自習を促す工夫をしている点など、数研では、別冊「これからの数学探求ノート」で発展的な学習や課題解決的な学習が進められるような工夫がなされている点など、日文では、各章の始めに「次の章を学ぶ前に」、こういったページを設け、既習事項の確認ができるようにしている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、数学について、各委員からの意見を求めます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

どの教科書も学習の進め方とかノートの書き方、まとめ方について丁寧に説明されていると感じました。私はその中でも東書か学図がよいと思いました。

まず東書なんですけれども、導入が非常に面白いと思いました。生徒の興味関心を引く題材が数多く取り入れられていたと感じます。

学図のほうなんですけれども、学図の例題というのは解説が非常に丁寧に書かれていたんですね。単に答えを求めるんじゃなくて、過程を大切にしているように私は感じました。この例題の解説については、家庭学習をする際に数学が苦手な生徒にとっても分かりやすいんじゃないかと感じました。苦手な子どもも引き上げていくという点で、私は学図のほうがいいと思いましたね。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も東書の導入が見ていて面白いなと思いました。そのほかでは、数研の「これからの数学探求ノート」、これは使い勝手がよさそうで、学校で学習したことを深めていくのに使えそうかなと思いました。

また、日文なんですけれども、点字の仕組みについて取り上げられているんですね。それが素晴らしいなと思いました。あともう一つ、点字に実際の凹凸がついていたら、さらによかったなと思いました。

学図は基本的な内容が多く取り入れられておいて、私も数学があまり得意ではないんですが、苦手な生徒が勉強しやすいのではないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も東書の導入がとても興味を引いて面白いなど、数学が苦手な生徒もこういう導入で意欲を持って取り組めたらいいなというふうに思いました。

教出の題材も面白いんです。例えば2年生の239ページにある「数学の広場」というのがあるんですけども、そこでダイアグラムが取り上げられているんですね。数学から生活への広がりを感じさせるよい工夫だなと思いました。ただ一方で、今後、新型コロナウイルス感染症の状況によって、あまりあってほしくはないですが、再び自宅で学習を進めていく可能性があることも考えておかなければと思うと、自学自習がしやすいという点で、基本問題の多さや例題の解説の丁寧さからは、学図の教科書が最も使いやすいのではないかなと思っています。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

選定委員長に1つ質問なんですけれども、選定資料の組織配列のところ、3年生の2次方程式の解き方について、平方根の考え方から入っているものと因数分解の考え方から入っているものというのがあるんですけども、どのような違いがあるのか教えてもらえますか。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

お答えします。

調査員からは、因数分解を利用する解き方については、式の計算の学習と関連づけて考えることができるので、先ほどの数学が苦手な生徒につきましても、比較的理解しやすい解き方で

あるんじゃないかなと聞いております。ですから、数学が苦手な生徒にとって比較的抵抗感が少なく取り組める方法と言えるのではないかと思います。

一方で、平方根を使った解き方では、「ルート」の理解がやはり難しく、特に苦手な生徒については抵抗感を感じてしまう、そういった生徒が多いのではないかと思います。

教育長（竹谷好弘）

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

よく分かりました。平方根の考え方から導入すると、苦手な生徒には難しく感じてしまうという可能性があるということです。大阪狭山市の全国学力・学習状況調査の結果から見ますと、数学がやや苦手な層に課題があるというふうに思っています。得意な生徒は、どちらの方法から導入しても理解することができると思うんですけども、苦手な生徒のことを考えると、少しでも取り組みやすく、そしてやる気を引き出すことができるほうがいいというふうに思っています。そういう観点では、基礎的・基本的内容の充実している学図がいいと私も思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

今、全国学力・学習状況調査の結果についてなんですけれども、大阪狭山市の生徒というのは、関数の分野に課題があると私は聞いているんです。もう少し細かく言うと、3年生の4月に全国学力・学習状況調査があるんですけども、1年生で学習する反比例の正答率が低く、定着していない状況だそうです。おそらく1年生で学習したそのときは理解したと思うんです

けれども、定期テストの正答率も悪くはなかったんだと思うんですけども、何で定着していないのかと考えたら、これはスパイラルな学習の取り扱いに課題があるんじゃないかと私は思っています。

どの教科書会社もスパイラルな学習の取り扱いについて随所に工夫が見られたんですけども、学図がより丁寧と私は感じました。例えば2年生で学習する1次関数、69ページですけども、ここで1年生のふりかえりが掲載されているんです。比例の学習が取り上げられているところが多い中で、学図は反比例も取り上げているんですね。ちょっとしたことだと思うんですけども、生徒たちに既習事項を思い出させたり、それを使って問題を解く場面を設定したりという点で、丁寧さとか数学の苦手な生徒を意識してつくっているように私は感じたので、学図が一番かなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

学校での勉強というのは、勉強が苦手な子を一番大切に考えて、苦手な子でも少しでもやる気を持って取り組むことができる教科書を使用するのがいいかなと、吉川選定委員長の話とか、あと河合委員の話とか聞いてそう思いました。そうしたら数学が苦手な生徒にとって取り組みやすいかなという、反復もできて取り組みやすいかなとなると学図かなと思いますね。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

意見も出そろったようでございます。ご意見をお伺いしておりますと、どの委員も学図を推しておられるようでございますので、学図で決定したいと思っておりますけれども、ご異議ございま

せんか。

(「異議なし」の声あり)

では、数学の教科書は学図を採択することに決定いたします。

続いて、理科の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、よろしく願いいたします。

選定委員長 (吉川 豊)

それでは、理科についてご報告いたします。

学習指導要領では、自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力の育成が目標に掲げられ、各社ともこの目標に沿って内容の充実や工夫が見られました。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料にございますが、例えば東書では、学習の流れがつかみやすく、課題から観察・実験、結果の分析・解釈、規則性の発見、そして結論といった一連の流れで単元が構成されており、単元の系統性が確認できるよう示されている点など、大日本では、「自由研究にチャレンジしよう」などで自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を育むための適切な内容が取り入れられている点など、学図では、各巻の巻末にホワイトボードとして機能するページを設けて、話し合いの場面に子どもたちが活用できるようにしている点など、教出では、「ハローサイエンス」などで学習と関連する身の回りの内容を扱って、日常生活や社会と関連づけて考えることができるよう工夫されている点など、啓林館では、章の導入などに「つながる学び」「思い出してみよう」が配置されており、既習内容を踏まえた上で新たな学習に取り組めるよう工夫されている点などの特徴が見ら

れました。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長 (竹谷好弘)

ありがとうございます。

それでは、理科について、各委員からの意見を求めます。

河合委員。

教育委員 (河合洋次)

私は東書が印象的な図や写真を掲載している点がよいと思いました。理科が苦手な生徒でも、分かりやすい図やインパクトのある写真を見て、理科学的な疑問に自分から気づいて、探究心を持って学習に取り組むことができるのではないかと思います。

あと、東書の1年生の95ページをご覧ください。ここに書かれているように、東書は実験や観察の手順を1ページにまとめて分かりやすく掲載していることと、あと他社と比べてサイズがコンパクトなんですよね。だから生徒が実験で活用する場面を想定して、工夫してつくられているなど私は感じました。

質問なんですけれども、選定委員で実験や観察での教科書の活用について何か意見は出されていますか。

教育長 (竹谷好弘)

吉川委員長。

選定委員長 (吉川 豊)

お聞きしているところでは、実験や観察を行った後に結果を分析あるいは解釈する際の視点が明確でなければ、科学的に探究することにはならないということです。

例えば2年生の96ページをご覧ください。

こちらには、天気単元において気象の変化を理解するために天気図などのイラストが用いられていますけれども、こういった場面で解説

の仕方を比べてまいりますと、啓林館の説明は、ペットボトルを使って気圧の差を説明するなど、非常に分かりやすくまとめられているという意見がございました。

また、3年生のエネルギーの単元、230ページに見られますが、単元の終わりでエネルギー資源とその利用に触れるなど、既習事項が単元の終わりに再度きちんと日常生活に結びつけて、そして定着させる、こういった流れになっている点で、啓林館はとても工夫されているという意見でした。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

私は東書と啓林館が導入やまとめを工夫しているという点では非常によいと思いました。例えばQRコードから閲覧できる学習資料の内容について、東書と啓林館は動画資料や図鑑が学習内容に応じてバランスよく取り扱われていました。

啓林館の1年生の地学分野では、啓林館の75ページから3ページにわたって、生徒になじみのある関西地方の写真や題材が多く取り扱われており、生徒の学習意欲を高められるのではないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

今ちょうど啓林館のほうの手元にありますので、1年生の139ページをご覧くださいと、別にこのページだけではないんですが、啓林館は「学ぶ前にトライ！」「学んだ後にリトライ！」というコーナーが設けられているんですね。だから単元を学ぶ前と後で生徒が自分の考えがどう変わったんだ、そんなことを問うような工夫がいろんなところにあります。

そのほかにも、1年生の教科書の45ページを開けていただきますと、動物の出産の写真があったり、3年生の2ページにも親子の写真があったりするんですね。17ページなどにも出てきます。だからあえて生命尊重だということ言っているわけではないけれども、随所にすごく親子の生命尊重を意識するような資料が配置されているなと思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も主体的・対話的で深い学びが実現するように工夫されているなという点で啓林館がいいなと思いました。啓林館はどの学年もそうなんですが、巻頭のページで「探究の過程」というものについて分かりやすく解説しているところがあるんですね。また、章の始めの「つながる学び」、QRがついていたりするんですが、その既に習った事項や学んだ学年とか、あとほかの教科との関連なども示している点もいいかなと思いました。生徒が後々理解を深めたり、学んだ内容を着実につけるために役立ちそうだなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

先ほど実験や観察のお話というのがありましたけれども、事故を防止して生徒の安全を確保するという点から、啓林館は手順や方法にマークや文字に色をつけたりして分かりやすくしたり、全ての学年での注意喚起のチェックリストというのを掲載しているの、活用しやすいかなと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにご意見ございませんでしょうか。

ご意見を伺っておりますと、啓林館を推す委員が多いように思いますので、理科につきましては啓林館にしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、理科の教科書は啓林館を採択することに決定します。

続いて、音楽の教科書の採択に入りますが、ここで少し休憩を取らせていただきます。

5分程度取りたいと思います。スタートは11時としたいと思います。よろしく願いいたします。

(休 憩)

教育長（竹谷好弘）

それでは、休憩前に引き続きまして、次は、音楽の教科書の採択に移ります。

それでは、吉川委員長、よろしく願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、音楽についてご報告いたします。

学習指導要領では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中での音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成が目標に掲げられ、各社ともこの目標に沿って内容の充実や工夫が見られます。音楽は「音楽一般」と「器楽合奏」とに分かれております。

まず、音楽一般の教科書についてご説明いたします。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料にもございますが、例えば教出では、「まなびリンク」というQRコードがあり、学習に役立つ動画や音声、ワークシートが活用できるウェブサイトにつなげることで学びを深める工夫がされている点など、教芸では、「深めよう！

音楽」で示された手順に沿って学習を進めることで、音楽的な見方・考え方を働かせながら思考・判断し、表現できるよう工夫されている点などのこうした特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

次に、器楽合奏の教科書につきまして、引き続き説明いたします。

教出では、それぞれの楽器の知識・技能を身につけながら、表現を工夫できるように「Let's Play」では初級から中級向け、「Let's Try」ではより発展的な合奏を中心に構成されている点など、教芸では、奏法を選択したり、演奏パートを交代したりして、生徒が音楽文化に豊かに関わるような内容が扱われている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、音楽について、各委員からの意見を求めます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

音楽のほうでは、「音楽一般」と「器楽合奏」に分かれていますけれども、扱っている楽曲等の関連性を考えたときに、同じ出版社で統一したほうが生徒が学習しやすいのではないかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

教育長（竹谷好弘）

今、山田教育長職務代理者から「音楽一般」、「器楽合奏」、同じ出版社で統一したいというご提案がございましたけれども、そこらあたりも踏まえましてご意見を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も絶対同じほうがいいと思ったので、同感です。教科書に関して、音楽一般については、私は教出の2・3年生上、56ページの「何が同じで、何が違う？」の観点が面白いなと思いました。雅楽に用いられる楽器とオーケストラに用いられる楽器のリズムや旋律の特徴を比較しながら整理して、共通点や相違点について話し合うという学習内容なんですけど、こういう学習を通して子どもたちが自然に日本と世界のつながりに気づいていってくれたらいいなと思っています。

音楽は、単に歌うとか演奏するだけじゃなくて、人権や多様性についても考えることができる、そこがうまく扱われている教材だなと思いました。

教出は、器楽合奏のところでも同じように、26ページに「何が同じで、何が違う？」というページが設けられています。ちょうど52ページにもそういうコラムもあるんですけども、音の出る仕組みや構え方に着目して、共通点や相違点について話し合う活動が取り上げられているなど注目していました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も「音楽一般」と「器楽合奏」で教科書会社を統一するということには賛成です。

音楽一般について、教出は曲が作られていく様子がすごく詳しく説明されている点がよいなと思いました。また、歌う姿勢、息をコントロールするポイントなどを生徒が自分でチェックできるように図解されている点も分かりやすいなと思いました。

教芸のほうですが、教芸は最近の曲をたくさ

ん取り扱っている点特徴的だなと思いました。

器楽合奏について、2社共に楽器の写真がアップで掲載されていて手元が見やすいなという、そういうのが工夫されていて分かりやすくていいなと思いました。

特に教出なんですけど、28ページにギターについての学習というのを器楽合奏のほうで扱っていて、左右の指遣いとか弾き方、そういうのが丁寧に説明されていたので、生徒も取り組みやすいなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

まず、「音楽一般」と「器楽合奏」で教科書会社を統一するという点については、私も異議はありません。

音楽一般についてですけれども、教出は挿絵が多くてデザインが見やすい点がよいなと思いました。特にドイツのシューベルトの「魔王」の取り扱いが視覚的に分かりやすくて丁寧に説明されているので、生徒が理解しやすいんじゃないかなと思いました。

あと、次、器楽合奏について、教出はリコーダーの演奏方法、これが写真を大きく掲載して解説しているんです。どの指をどうすればいいかはっきり示しているんで、これは生徒も分かりやすいなと思いました。

あと、巻末にある「ギター&キーボード コード表」についてですけれども、教出のほうなんですけれども、教出が実際に人の指で押さえ方を掲載しているんで、この点はすごい分かりやすいなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

先ほど委員長の説明にもあったんですけども、教出の器楽のほうで、60ページから「Let's Play!」というのがあって、初級・中級向けの合奏というのがあって、72ページから「Let's Try!」ということで発展的な合奏を中心に掲載しているということで、生徒たちがこれまで身につけてきた技能を習熟度に合わせて表現できるよう工夫されていると思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかに意見はございませんか。

意見が出そろったようでございます。ご意見を伺っておりますと、「音楽一般」、「器楽合奏」とも教出を推す委員がほとんどのようでございますので、音楽につきましては教出としたと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、「音楽一般」、「器楽合奏」の教科書は教出を採択することに決定いたします。

続いて、美術の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

吉川委員長、よろしく願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、美術についてご報告いたします。

学習指導要領では、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することをめざしています。このことを踏まえ、各社とも感性や想像力などを働かせて、表現したり観賞したりする資質・能力を相互に関連させながら育成できる内容となっております。

また、生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実が図ることができるよう、適切な内容が取り上げられています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資

料にございますが、例えば開隆堂では、デザイナーのインタビューを通し、生活や社会を豊かにするデザインの考え方を学ぶとともに、将来に向けた職業選択をイメージしている点など、光村では、「メッセージを伝える」の生徒作品で、LGBTあるいはいじめ防止などの人権尊重の作品を取り扱っている点など、日文では、学校や地域の実態に合わせて活動できるように、短時間で準備あるいは活動できる題材も併せて紹介している点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、美術について、各委員からの意見を求めます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は光村の鑑賞に対する生徒への問いかけがすっきりしていてよいなというふうに思ったんですけども、2・3年生の48、53ページをご覧いただけたらと思います。見開きですごく大きなゲルニカがあるんですけども、ここの53のところ問いがあるんですけども、鑑賞作品であるピカソのゲルニカに対する問いかけを見ると、非常に細かな解説があるというのかもしれないかもしれませんが、できるだけ説明を最小限にして、生徒が感性や想像力などを働かせて観賞することを大事にしているんだなと感じました。この問いかけだけじゃなくて、いろいろこの教科書を読んでいてとても楽しかったというのが私の印象です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も光村続きでなんですけれども、光村は紙の質を工夫しているところがいいなと思いました。同じく2・3年生の37ページなんですけど、これは絵巻物の「鳥獣人物戯画」を鑑賞する題材になっているんですが、風合いのある紙質、本当に巻物を、卷子を見ているような感じの用紙を使っているんですね。

同じく13ページには「最後の晚餐」が図版として載せてあるんですが、その上にトレーシングペーパーが閉じ込まれていて、かぶせると書き込みができるようになっていて、これはすごい面白い、授業で活用できるなと思って見えました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は開隆堂の「学びの資料」が活用しやすいと思いました。1年生の58ページを見ていただけますか。

美術というのはたくさんの用具を使うんですけども、その用具の使い方についての説明がこの「学びの資料」でとても充実しています。用具の正しい使い方を学ぶことで表現の幅とかが広がって、造形や美術についての理解もより深まると思うんですね。この点で「学びの資料」は丁寧で分かりやすかったなと思います。

あと、開隆堂の作品を見ていると、1つずつ作品に番号が振られているんですね。これは授業の際に、教師・教員が「何番の作品を見てください」というと、生徒もどの作品を見ればいいのかというのが分かりやすいというところが開隆堂はよかったかなと。あと、QRコードで用具の使い方を動画で見られるのも分かりやすくっていいんじゃないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

選定委員長に質問なんですけれども、今、QRコードの話というのがありましたけれども、閲覧できる学習資料について、各社の特徴というのはどのようになっているのか教えてもらえますか。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

これも調査員のほうに確認をしたところなんですけど、QRコードの特徴で申しましたら、開隆堂は、先ほど河合委員がおっしゃったように、用具の使い方、こうした動画が充実しております。教科書掲載以外の作品例も同様に充実しております。

以後、光村は、動画の音声ガイドや生徒作品の例示が充実しております。

日文については、彫刻などの立体作品を360度回転させながら鑑賞できるようなコンテンツが導入をされていたということです。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

QRコードの活用というお話ですけども、生徒が主体的に学ぶ機会というのがますます増えそうなので、日文の360度回転させながら鑑賞できるコンテンツというのは、より作品が生徒に身近に感じられてよさそうですね。

その点でいくと、日文の1年の表紙なんですけれども、これなんかはフェルメールの真珠の耳飾りの少女が表紙となっているんですけども、これなんかも一度は目にしたことがあって、よく知っている作品じゃないかなと思います。

同じく日文で、2・3年生下の16、17ページをご覧いただけたらと思うんですが、これなんかは漫画の魅力という大きい項目なんですけれども、ここなんかは生徒にとって身近な漫画を題材にして、心の内だったりとか場面なんかを

表すための手法や構図というものが学ぶことができるようになっていて面白いなと思います。また、親しみやすい教材なので、生徒が主体的に興味を持って学べるかなとも思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

今、田川委員が日文がいいという点を述べてもらったんですよ。日文について全体的に色がとても鮮明で鮮やかで私もよかったと思います。

1年生の68、69ページをご覧ください。

それぞれの写真の色が明るくてすごい鮮明なんですよね。色だけでなくダイナミックさも感じると。あと、2・3年生上の2、3ページをご覧ください。

これはゴッホの「星月夜」です。原寸大で鮮明な色彩で掲載しているんですけども、すごい迫力があるんですよ。これは原寸大だからこそ筆遣いとか色遣いがより生徒に伝わるんじゃないかなと思うんですけども、いいなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

私も日文というのは絵や写真に迫力があって、先ほどもありましたけれども、ダイナミックな構成になっているので非常にいいなと思いました。また、両面観音開きの折り込みページで大きく掲載して、生徒たちの心に強く印象づける紙面構成になっていまして、いいなというふうに思いました。また、内容も精選されていて、生徒にとっても分かりやすくなっていると思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにご意見ございませんでしょうか。

意見が出そろったようでございます。ご意見を伺っておりますと、多くの委員から日文を推すご意見が多かったように思われます。美術につきましては日文としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは美術の教科書は、日文を採択することに決定いたします。

続いて、保健体育の教科書の採択に移ります。準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、保健体育についてご報告いたします。

学習指導要領では、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することをめざしています。

このことを踏まえ、学習課題を整理し、課題解決に取り組むことで、運動の特性に応じた技能や個人生活における健康・安全の知識・技能を身につけられる内容が取り上げられています。

また、習得した知識・技能を活用し、生活の振り返りを行うことを通して、運動や健康についての自他の課題を見つけ、その解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を養うための適切な内容が取り上げられています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料でございますが、例えば東書では、「学習課題」として単元の課題を示し、生徒自身が自分のこととして、課題を合理的に解決する学習活動が行えるよう工夫されている点など、大日本では、AR技術を用いたデジタルコンテンツを活用しており、教科書の内容を読み込むことで

学習をより深めるための詳しい情報を得ることができる点など、大修館では、生涯スポーツの観点が多く取り入れられており、視覚から入りやすいよう大型の写真が掲載され、運動やスポーツの多様な楽しみ方が分かるよう工夫されている点など、学研では、LGBTに関わる活動をしている人の声を掲載するなど、多様な性を尊重した表現が掲載されている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

それでは、保健体育について、各委員からの意見を求めます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は違法薬物の取扱いに注目して、各社を比較してみたのですけれども、大修館の88ページを開けていただきますと表があるのですけれども、その表の中に正式名称と同じ扱いで俗称が紹介されていました。子どもたちが違法薬物に最初に関わるというのは、多分俗称のほうから耳に入るのかなと思いますと、違法薬物の危険から遠ざけていこうと思ったら、正式名称だけじゃなくて俗称の知識についても学んで警戒心を高めておく必要があるのではないかと思います。

薬物によって健康が損なわれる仕組みなども具体的に紹介されているので、違法薬物の危険性について理解を深めるという点では、うまく子どもたちに伝えることができるのではないかと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私は大日本が心肺蘇生法について見開きで大きく取り扱っている点がよいなと思いました。ちょうど105ページ、心肺蘇生法がその裏に見開きに大きくあるんですが、こちらでは、119番してからその後の手順というのが分かりやすく示されていて、生徒たちにすごく参考になるんじゃないかなと思いました。

同じく大日本で、136ページからなんですが、これはまたさっきの応急の手当とは違うんですが、性感染症というところなんです、この性感染症のリスクとか予防について取り扱われているんですね。こういった内容も、大阪狭山市の生徒には、自分の子どもたちにもですけれども、ぜひ学んでおいてほしいなと思いました。

あともう一冊、大修館のほうなんです、こっちも感染症について詳しく取り扱っていたんですが、そのほかに多分この教科書だけ特化していたのかなと思うんですが、151ページのところで「免疫と食物アレルギー」というところがあるんですが、小さいコラムみたいになっているんですが、そこでアレルギーとアナフィラキシーのことについて触れている点がよいなと思いました。きつい症状が出たときのエピペンなんかも掲載されているのはここだけだったなと思います。

東書も心肺蘇生法についての記載が分かりやすく、それがいい点かなと思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

質問なんですけれども、選定委員会の中で各社の特徴について、ほかにどのような意見があったのか、お聞かせいただけますか。

選定委員長（吉川 豊）

選定委員会では、大修館は情報量がとても多

くて、授業時間以外の子どもたちの自主学習でも並行して活用できる、そういう活用するような場合には効果的なのではないかという意見がございました。

大日本は、内容がコンパクトにまとまっているので、生徒には分かりやすく、教えるほうの教員にとっても授業を進めていきやすいのではないかという意見がございました。

また、学研では、先ほどありましたようにLGBTに関わる活動をしている人の声を掲載するなど、多様な性の尊重について取り扱っている点が特徴的だということです。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

保健体育の中で保健の授業の配当時間を確認しておきたいんですけれども、教えていただけるでしょうか。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

学習指導要領では、保健分野の授業時数は、3年間で48時間程度配当することになっています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにご意見。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

今、保健分野の授業時数が3年間で48時間ということですが、その授業時数からすると、選定委員会でも意見が出ていたみたいですが、大日本が内容をコンパクトにまとめていて、大日本を使って生徒が自分で考える時間とか、生徒同士で意見を交流する時間を確保しやすいのではないかと思います。

あと、大日本は災害時の応急処置や熱中症についてチャートで分かりやすく説明していただいたので、生徒が緊急時に活用しやすいのではないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

大日本は内容がコンパクトというのが出てくるんですけども、実は非常に見やすいというものもあると思うんですね。見開きの右側が資料で左側が本文というレイアウトになっていて、すごく分かりやすくていいと思うんですね。こうやって紙面の構成が決まっていると、学習を進める上でも子どもたちも参考にしやすいなというふうに思いました。

あと、喫煙が心身に与える様々な影響について具体的に示されているんです。それもとてつインパクトがあるなと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

大日本なんですけれども、食事の大切さについても丁寧に扱っているなど、それもよいなと思いました。口絵の11ページ、12ページにあるんですけれども、例えば食事に関する資料を分かりやすく掲載しているのが、健康のためにどんな食事を取ればいいのかとか、特にスポーツをしている子なんかには参考になるいい食事の仕方だとかが載っているなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにご意見ありませんでしょうか。

意見が出そろったようでございます。ご意見をお伺いしておりますと、大日本を推す委員が多かったように思われますので、保健体育につ

きましては大日本としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、保健体育の教科書は大日本を採択することに決定いたします。

続いて、技術・家庭(技術分野)の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長(吉川 豊)

それでは、技術についてご報告いたします。

学習指導要領では、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育成することをめざしています。

このことを踏まえ、各社ともこれまで開発され生活や社会で利用されてきた技術について、その仕組みと原理・法則を理解するとともに、それらに係る技能の習得を図ることができる内容となっております。

また、技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、問題を解決する力を養えるよう、適切な内容が取り上げられています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料でございますが、例えば東書では、「技術の匠」で問題解決の工夫や技術に対する思いを掲載している点など、教図では、キャリア教育として、社会で活躍する人々や中高生の先輩が活躍する姿を紹介し、自らの進路や社会とのつながりを意識づけるよう工夫している点など、開隆堂では、実習例で社会とどのようにつながるのかについて示している点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料でございますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長(竹谷好弘)

ありがとうございます。

それでは、技術・家庭(技術)につきまして、各委員からの意見を求めます。

田川委員。

教育委員(田川宜子)

私は開隆堂の栽培ごよみがいいなと思いました。118ページ、119ページにあるんですが、野菜や花の栽培ごよみがとても見やすく掲載されているなと思いました。

同じように栽培関連で見えていくと、東書の肥料に関する内容、112、113ページになるんですが、これもとても分かりやすいなと思いました。

私は常時農業をするのですが、農業に関する月刊誌というのがあるんですが、それに遜色ないぐらい肥料や農薬の使い方、充実した内容が書かれているなと感じました。

教育長(竹谷好弘)

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員(河合洋次)

私は教図の技術ハンドブックがついているんですけども、それがいいなと思いました。別冊ですね、別冊の技術ハンドブック。これは実習するときはこの別冊だけ持参すればいいし、あと必要な基礎技能が載っているんですね。知りたい技能をぱっと見つけることができてすごい便利やなと思いました。

教育長(竹谷好弘)

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員(田川宜子)

別冊ではないんですが、東書の一番後ろのところに切り離しができるようになっているプログラミング学習の取扱いというのがあるんですが、これはいいなと思いました。「今すぐできる!プログラミング手帳」というのがあるんですが、ご覧になっていますでしょうか。

それぞれのプログラミングの言語が書いてあるんですが、それについて詳しく説明されていて、これからするに当たって生徒が興味を持って学ぶツールになるんじゃないかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育委員（山田順久）

質問なんですけれども、生徒が主体的に学ぶ際に活用できるよう、各社ともQRコードを取り扱っていると聞きますけれども、各社の特徴はどうなっているのか、教えてもらえるでしょうか。

また、主体的に学ぶ際には、学習に対しての課題を持つこととともに、学んだことの振り返りやまとめというのも大切になると思っていますので、各社の振り返りの工夫や特徴というのをも同時に教えていただけたらと思います。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

お答えします。

QRコードから閲覧できる学習資料の特徴といたしましては、東書は各単元に関する動画や他教科へのリンク、こういったところが充実していました。

教図、教育図書は、実習動画や外部へのリンクが充実していました。開隆堂は用語解説や実習動画が充実しておりました。それから振り返り・まとめにつきましては、東書は簡潔にまとめる際のポイントが示されている点、教図は項目にチェックする形式で学習活動の自己評価ができる点、開隆堂は学習活動の自己評価をこちらは3段階でできる点がそれぞれ特徴的でした。

以上です。

教育委員（山田順久）

技術の授業の配当時間というのを確認して良いですか。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

学習指導要領では、技術と家庭を合わせて標準授業時間数が1・2年生では70時間、3年生で35時間となっております。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育委員（山田順久）

ということは、技術と家庭を併せて1・2年生で週2時間、3年生で週1時間の授業時数ということなんですけれども、学習内容は非常に多岐にわたっています。そういう意味で、他教科へのリンクが充実して、意識的に教科横断的な学習ができる東書のQRコードというのが限られた授業時間数の中では活用しやすいのではないかなと思いました。

また、各社でまとめや振り返りの特徴は違っているということなんですけれども、全国学力・学習状況調査の結果からは、本市の生徒には目的や意図を考えながら書くという力に課題があるということで、各校で意識的に取り組んでいたと聞いております。その観点で考えた場合、チェックや3段階で自己評価をするだけでなく、言葉で振り返りを行うことのできる東書のまとめの扱い方、これが本市の生徒には適しているのではないかなと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

今、東書の話が出ているんですが、私は東書の280から285ページにわたってずっとあるコンピューターの基本操作の取扱い、ここもいいなというふうに思っています。文書処理ソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアの操作、本当に分かりやすく書

かれていて、どの操作も基本的なところからしっかりと学べるのではないかなと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

東書についてですけれども、私は情報モラルの内容がとても豊富で、すごい充実していると思いました。ページ数としては6ページ分の取扱いになっていてとても充実しています。

あと、便利な点と注意すべき点を比較してその解説をするという構成、ここがすっきりとしていて、生徒にとって身近で分かりやすいと思いましたので、東書のほうがよかったですね。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

意見が出そろったようでございます。ご意見をお伺いしておりますと、東書を推す委員がほとんどのように思われます。技術につきましては東書としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、技術・家庭（技術分野）の教科書は、東書を採択することに決定いたします。

続いて、技術・家庭（家庭分野）の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、家庭科についてご報告いたします。

学習指導要領では、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することをめざしています。

このことを踏まえ、各社とも家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な基

礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけることができる内容となっております。

また、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うことができるよう、適切な内容が取り上げられています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料にございますが、例えば東書では、レポート例が充実しており、生徒が自ら学習をする際の参考として扱うことができるように工夫されている点など、教図では、調理実習において時間がないときの調理方法を紹介したり、蒸し器の代わりにフライパンを使った蒸し料理を掲載したりと、学校の実態に合わせて活用しやすいように配慮されている点など、開隆堂では、各内容の章末に「持続可能な何々生活」の記述が設けられ、持続可能な社会を目指して考え行動できるように工夫されている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、家庭科につきましては、各委員からの意見を求めます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私は開隆堂の食品と分量の原寸大写真が分かりやすくてよいなと思いました。88から93ページまでカラーで大きく載っているんですけども、1日に取りたい食品と分量について、原寸大の写真で1群から6群まで食品群別でその分量が示されているんですね。これは言葉だけ聞

くだけじゃなくて、目から視覚的からも分かりやすく表してあるので、1群から6群まで食べているというのを生活の中で感じていることが少ない生徒も実感して学ぶことができるかなと思いました。

例えば94ページのからあげ弁当の写真が載っているんですが、それなんかは一回の食事で栄養のバランスが取れているのかどうかというのが目で見て判断しやすくていいんじゃないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は教図の未成年者取り消しについての内容が充実していると思いました。246、247ページなんですけれども、未成年者取消しというのは、中学生にとっても知っておくべき大切なことだと思います。これについて教図は、見開き2ページを使ってイラストとともに分かりやすく示していると思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は自分の仕事の関係もあって、「幼児との関わり」というところの特徴を見せていただいたんですけども、東書の幼児との関わりがとても言葉遣いにも配慮されているというふうに思いました。

まず、243ページのところに、資料なんですけど、保育所や幼稚園、認定こども園というように認定こども園が出てくるんですね。他社さんは意外と保育所と幼稚園となっていたんです。今は認定こども園がとても増えていますので、現状にマッチしているかなということと、とても細かなことなんですけど、240ページの「触れ

合い体験」で幼児と触れ合う活動例があるんですけど、「絵本を読む」と書かれているんですね。読み聞かせというふうな表現が多い中で、これも本当にこれからの保育ということを考えた文言が使われていると思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

私は東書の防災教育の内容というのがとても豊富で充実していると思いました。巻末に「防災・減災手帳」とあるんですけども、ご覧ください。

別冊になっていまして、別冊にすることで防災意識への意識を高め、いざというときには持ち運びもしやすくなっているというあたりが非常にいいのではないかなと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ほか。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

東書についての話が今出ているので、私も東書をいいと思いましたので、どこがいいかといえば、写真やイラストを多く用いていて、生徒にとって学習がより分かりやすく、身近になるんじゃないかなと思いました。

127ページをご覧ください。

これは手元を大きく写した写真で、手縫いの仕方がすごく分かりやすく示されているんですね。また、次は201ページ、これは漫画で説明しているんですけども、漫画を用いることで日常に潜む消費者の権利と責任について、生徒は身近に感じて理解しやすくなるんじゃないかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

東書つながりで、私は東書の調理の実習例と参考例というのが豊富で工夫されているなと思いました。

88ページ、89ページ、「朝食づくりに挑戦しよう」「弁当づくりに挑戦しよう」というところなんですけど、作り方が詳しく書かれているのと、作る際のちょっとしたワンポイントアドバイスが示されていて、これで実習例がより具体的なものとなって、実際に生徒が家庭で調理をしたいと思うようになるのではと思います。

また、こういうワンポイントのあたり、いろんなたくさんの調理例があつたりして、家庭科が目標にしている自立につながるというところ、自立するということの配慮かなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

ご意見を伺っておりますと、東書を推すご意見が多かったように思います。家庭科につきましては、東書としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、家庭科の教科書は東書を採択することに決定いたします。

続いて、英語の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、英語科についてご報告いたします。

学習指導要領の目標では、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を「聞くこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「読むこと」「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけると

あります。

また、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養うとされています。各社とも目標を達成するために資料や写真の充実が図られ、構成が工夫されております。

また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うという点におきましても、興味関心を高める内容となっております。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料にございますが、例えば東書では、「道案内」、「電話」、「買物」などの言語の使用場面・働きが各学年の学習状況に合わせて配置されており、実践的な英語が運用できるよう、多様な言語活動が設定されている点など、開隆堂では、小学校の既習表現の復習ができ、小中連携に配慮がなされている点など、三省堂では、人権の取り扱いについて、多言語社会、障がい者理解、平和学習などのジャンルがバランスよく配置され、生徒の発達段階に応じて配列されている点など、教出では、身近な生活に即したコミュニケーション活動があり、小学校英語を生かす活動で小中連携に配慮されている点など、光村では、即興スピーキングドリルが活用しやすいサイズで3学年ともついていて、ふだんからやり取りの活動が多様にできる点など、啓林館では、ユニバーサルデザイン・フォントや活字体など、発達段階に合わせた書体が使用されている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、英語につきまして、各委員から意見を求めます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

資料の目標・内容の取扱いのところ、未来を表す表現、受け身、現在完了形の配列というのが各社で違うようではございますけれども、教員が指導に当たって何か影響というのはありますか。

教育長（竹谷好弘）

吉川委員長。

選定委員長（吉川 豊）

本年度使用している教科書では、「未来を表す表現」、「受け身」、「現在完了形」、この順で学習しております。

選定委員からは、「順番が変わることによる大きな影響はないかな、ただ今までと違う順序となる場合には、中には戸惑う教員があるかもしれない」という意見もございました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

今、選定委員長のお話を聞かせていただきますと、経験の浅い先生が増えてきているという現状を考えると、今までどおりの順序のほうが教えやすいのではないかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

と同時に、学習の順序に違いがあれば、市町村を越えて転校した際に配慮というのにも必要になってきますよね。

教育長（竹谷好弘）

ほかにご意見。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私はQRコードから閲覧できるインターネット上の学習資料について、各社比較してみたいんですが、三省堂の音声資料なんですが、読んでいる人の声のトーンが聞き取りやすいなと感じました。

あと、啓林館の学習資料では、文字のサイズがコンテンツの中で文字のサイズを変えることができて見やすく活用しやすいと感じました。

光村は、「話すこと」、特に会話のやり取りを重視した動画資料が活用しやすいなと思いました。

東書は、本文や単語の音声を確認するということができ、生徒が家で勉強する自学自習する際にも活用しやすいなと感じました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は紙面のレイアウトに注目してみたんですが、啓林館がとても見やすかったです。教科書のどの部分に何が書かれているのかというのが、ほとんど共通してとても洗練されていて見やすさはとてもいいなと思ったんですね。

ただ東書も様々な写真がレイアウトされていて、生徒たちが興味を持って学習を進めることができるように編集されているなと感じました。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は光村と東書がいいなと思ったんですが、まず光村ですけれども、小学校は現在、光村の外国語の教科書を採択しているんですが、光村はストーリーの中で言語事項を学んでいく感じがいいなと思いました。

東書は、使用目的、使用場面、使用状況を記載し、その中で言語事項を学んでいけるように

工夫されています。また、目的、場面、状況に応じて言語事項を学んだ後、「Grammar for Communication」のページがあるんですけども、そこで再度その言語事項を確認していくという構成となっております。私はこういう構成が学習内容の定着に配慮されていると思いました。

各社とも様々な工夫が見られましたが、私は東書の構成が一番いいかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理人。

教育長職務代理人（山田順久）

昨年の全国学力・学習状況調査の本市の英語の調査結果というのは、全国平均値と比較して良好な結果だったというふうに記憶しています。本市の生徒は、英語を得意としている傾向がありますので、その力をさらに伸ばしていくような教科書がよいと思っています。

そのような観点で総合的に判断すると、東書の内容の程度や取扱いというのが本市の生徒に適しているように思います。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も総合的に考えると東書がよいと思います。巻末の話ばかりしていくんですが、3年生の123ページの巻末表を見ていただきますと、単語のページで発音記号の色も変えてあって、非常に自学自習するときにも使いやすいなと感じました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

東書なんですけれども、新出の言語材料の掲

示の仕方について、「Preview」のイラストから気づきを促して、「Key Sentence」というところでまとめられるようになっていて、自己表現に役立つ語句などが「Tool Box」というところでまとめられている点がいいなと思いました。

こういうのは英語がすごく得意な生徒だけでなく、ちょっと英語は嫌やなど、ちょっと好きじゃないかも思っている苦手を感じている生徒に対しても、学習を支援する配慮がなされているのかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

意見が出そろったようでございます。ご意見を伺っておりますと、東書を推す意見が多かったようでございますので、英語につきましては東書としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、英語の教科書は東書を採択することに決定いたします。

続きまして、最後の種目となりました。道徳の教科書の採択に移ります。

準備をお願いします。

それでは、吉川委員長、お願いいたします。

選定委員長（吉川 豊）

それでは、道徳についてご報告いたします。

学習指導要領では、特別の教科「道徳」の目標は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に自己を見詰め、物事を広い視野から多面的・多目的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることと示されており、学習指導要領の目標達成に向け、各社とも適切な内容が取り上げられています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お手元の資料にございますが、例えば東書では、自分の心情の割合を可視化するツールである「心情円」が巻末に付録として収録されている点など、教出では、巻末に学期ごとの学習の感想を記入する「道徳の学びを振り返ろう」が収録されている点など、光村では、巻末に「学びの記録」のコーナーを設け、1時間ごとの記録や学期ごとの振り返りを記入できるよう配慮されている点など、日文では、「プラットフォーム」で教材の内容に関連した資料や記事などを掲載している点など、学研では、巻頭で「道徳で学ぶこと・考えること」「考えを深める四つのステップ」など、学習の流れの見通しを示している点など、あかつきでは、生徒の思考を支援できるよう、別冊ノートの「心のしおり」に考え方のヒントを掲載している点など、日科では、「もっと知りたい」で資料の内容に関連した補足的な話題を取り扱っている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、道徳について、各委員からの意見を求めます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

今、大阪狭山市の中学校では、日文の教科書を採用していますけれども、新しい日文の別冊の「道徳ノート」というのが今使っている現行のものよりも使いやすくなっているのかなと思いました。例えば2年生の別冊の「道徳ノート」の23ページなんですけど、これは今使っている現行の別冊ノートの同じページでは、「考えてみよう」の欄と「自分にプラスワン」の欄にそれぞれ、今のはあらかじめ発問が記載されて

いるんですね。新しい「道徳ノート」では、自由に発問を書き込めるようになっているんです。教員はあらかじめ書かれている発問に制限されることなく生徒の実態に応じて工夫することができるかなど。これはこれまでよりもさらに活用しやすくなったんじゃないかなと感じました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は各社のいじめの取扱い方に注目して比較してみたいんですけども、東書と日文、光村が「自分たちでいじめ問題に取り組む」という観点を取り扱っていていいなと思っています。

東書の3年生の30ページをご覧くださいますと、中学生サミットを題材にした「いじめから目をそむけない」という資料で、いじめ防止や今あるいじめをなくしていくためには何を大切にしていったらいいのかという問いかけが生徒に対してなされています。

それから、日文の2年生の72ページを見ていただきますと、「いじめ」をなくするためにできることとして、2つの中学校の生徒の取組が紹介されているんですね。

そして光村の3年生の36ページ、「深めたいむ」というのがあるんですが、ここでは神奈川県の中学校の生徒たちの自分たちの学校を自分たちの手でよくしていこうという活動が紹介されています。

大阪狭山市では、毎年各小・中学校の児童生徒の代表が集まって「生徒会サミット」を行って、自分たちでいじめをなくするためにできることについて話し合っていると聞いております。ですから、これらの資料と「生徒会サミット」がうまくつながり合っていくと、生徒がいじめについてさらに主体的に考えることができるのではないかと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は、学研の1年生、162ページ、「ゲームから広がる可能性」で現代的なテーマを取り扱っている点がいいなと思いました。ゲームとかスマートフォンというのは、今の生徒にとってすごい身近なものなんですけれども、ゲームの技術を障害がある人への支援やサービスに生かそうとしているという主人公のエピソードは、生徒の興味をすごい強く引きつけるんじゃないかなと思います。

あと学研については、写真とか絵が大きくとても美しい点も特徴的です。例えば2年生の142ページをご覧ください。

「美しい自然」というテーマにぴったりの写真が掲載されていて、生徒が美しいものに出会ったときの気持ちを思い起こしやすいんじゃないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

生徒が興味を持って取り組むという観点からしたら、私は光村の2年生の93ページの「深めたいむ」が特徴的だなと思いました。ここでは、直前の資料で「民主主義と多数決の近くて遠い関係」に続いて、複数の人と話し合うことの意義とか効果をゲーム感覚で学べるよう工夫されているんですね。生徒が意欲的に話し合い活動に取り組めるんじゃないかと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山田順久）

私は、道徳の時間というのは、生徒が資料を

通して自分と向き合う、そしてじっくりと考える時間であってほしいと考えています。そういう観点からいいますと、光村は生徒が意欲的に考えて、お互いの意見を交流したくなるような資料を取り扱っていると感じました。

例えば2年生の33ページ、「明日、みんなを着よう」というカナダのいじめ反対運動の話題を取り扱っています。いじめの資料の取扱いについては、先ほど井上委員も意見を述べられていましたけれども、いじめの傍観者の意識を変える、そしていじめの被害をなくしていこうとする「ピンクシャツデー」の取り組みというのは、いじめと自分との関わり、また自分と社会とのつながりについて生徒たちが主体的に考えるよい機会になるのではないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

同じ光村の道徳、中学道徳2年の資料なんですけれども、さっきの「ピンクシャツデー」に続いて載せてあります37ページの「深めたいむ」のところで、人をからかう振る舞いである「いじり」について取り扱っているんですが、いじっている人は冗談のつもりでも、いじられている人の立場にしたら、本心では嫌な気持ちを味わっている場合も少なくないと思うんですね。「いじり」と「いじめ」は同じものなのか、違うものなのか、そういうのも大阪狭山市の生徒にもしっかりと考えて議論してほしいなと思うので、この資料もいいかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も光村はそのほかにも「見方を変えて」という発問があって、すごく面白いなと思ってい

ます。

例えば3年生の25ページをご覧くださいますと、「二通の手紙」という資料の取扱いについて、「考えよう」で資料の目当てに迫るための問いを例示して、「見方を変えて」で資料の目当てについて別の視点から考えることができるように工夫されています。必要に応じて「見方を変えて」に示されている発問を先生が取り扱っていただくと、子どもたちが資料の目当てについて多面的・多角的に考えることができるんだらうなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

この今の光村の25ページのところですけれども、「見方を変えて」というところで、「元さんと姉弟を演じて、考えてみよう。」と生徒に投げかけているんですね。光村は幾つかの資料の「見方を変えて」でこんな役割演技を取り入れているんです。これというのは、生徒が資料の目当てについて体験的に思考できるよう配慮されていていいんじゃないかなと私は思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

意見が出そろったようでございます。それぞれご意見いただきました。光村を推すご意見が多かったように思いますので、道徳につきましては光村としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、道徳の教科書は光村を採択することに決定いたします。

ありがとうございます。

以上16種目の審議が終わりました。

では、各種目の採択結果につきまして、確認

を行いたいと思います。

採択しました教科書につきましては、順番に、国語、東京書籍、書写、東京書籍、社会（地理的分野）、日本文教出版、歴史的分野、帝国書院、公民的分野、日本文教出版、地図につきましては帝国書院、数学、学校図書、理科、新興出版社啓林館、音楽（一般・器楽合奏）、教育出版、美術、日本文教出版、保健体育、大日本図書、技術・家庭（技術分野）が東京書籍、家庭分野につきましても東京書籍、英語、東京書籍、道徳、光村図書。

以上でございます。

委員の皆様、長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。

本日提案のありました全ての種目は、以上のとおり採択されました。

これもちまして、令和2年第7回教育委員会定例会議を閉会いたします。

お疲れさまでございました。

以上

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、署名する。

教育委員会教育長

教育委員会 委員

教育委員会 委員

教育委員会事務局職員